

1. 経 営 方 針

(1) 経営の基本方針について

当社は、「生活者に納得していただける優れた医薬品、健康関連商品および健康関連情報、サービスを、社会から受け入れられる方法で創造、提供し、生活者の健康の維持増進に貢献すること」を使命として、グローバル競争下において継続的な成長発展を実現できる経営基盤の確立を目指しております。

(2) 利益配分方針などについて

長期にわたり安定的且つ高水準の配当を継続するとともに、企業体質の強化を図る為、内部留保の充実にも努めております。内部留保金は、設備投資、研究開発投資を初めとする基盤強化投資に充当して行く方針であります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略などについて

主力のセルフメディケーション事業（一般用医薬品および健康関連商品事業）の拡充と医療用医薬品事業の一層の推進を図ってまいります。

セルフメディケーション事業分野では、いわゆる治療薬と栄養保健剤のほか発毛剤などの生活改善剤を含む領域で、生活者のニーズにマッチした製品ラインの充実に努めます。そして、医療用医薬品の研究成果やノウハウを応用して、有用性が高く、安全な新製品の開発に取り組めます。

医療用医薬品事業分野では、重点開発分野を脳循環／痴呆、免疫／アレルギー、精神神経、糖尿病などに絞り込み、国際的に通用するオリジナリティの高い新薬開発に努めますとともに、研究開発効率の向上を図る為、内外有力メーカーとの提携を積極的に進めてまいります。

生産面については、今後の業容の拡大に対応すべく、引続き大宮工場の再開発計画などを進めていきます。

なお、一段と厳しさを増す事業環境の中で生き残りを図る為には、不断に経営を見直し積極的に改革に取り組み、合理化を進めていかねばなりません。その為に、既存事業の見直し、再編、整理などにも取り組んでおりますが、その一環として先頃、殺虫剤の製造を本年をもって中止することを決定し、事業の集約化を図ることにいたしました。

(4) 経営管理組織の整備等に関する施策などについて

本年4月から執行役員制度を導入し、取締役が担う「経営の意思決定および監督機能」と執行役員が担う「業務執行機能」と区分することにより、コーポレートガバナンスの充実、業務執行における意思決定の迅速化を図っております。